

2023年5月導入
トヨタ記念病院様

導入に至る経緯

より高度な入退室セキュリティ対策と搬送ロボットとの連携が必要

患者様にとって安全かつ安心な療養環境の提供とプライバシー保護の観点から、より高度な入退室セキュリティ対策の導入を検討されていました。

また、搬送ロボットの導入にあたっては、ロボット自身がセキュリティドアの施錠・解錠を行う必要があり、それに対応できるシステムが求められていました。

選定理由

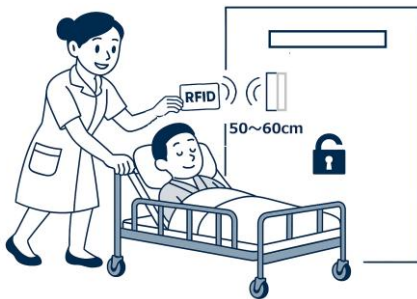
決め手は、ハンズフリー入退と現行システムに連携できる拡張性の高さ

- ・患者様タグ、患者付添カード、従業員、サービス提供会社など、各種OneDAYカードへの対応をトータルで実現
- ・現場のニーズに即した仕様変更や機能追加が可能であり、運用における柔軟性
- ・ロングレンジリーダおよびショートレンジリーダを運用環境に応じて最適な箇所に配置が可能

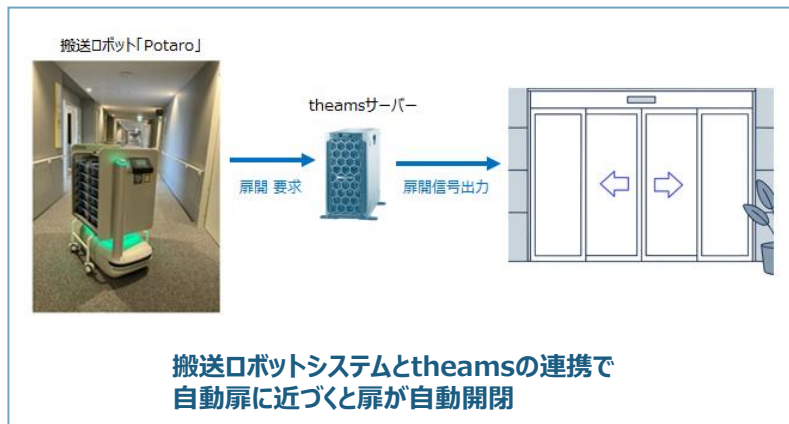
導入後

ハンズフリー入退室による利便性の確保と搬送ロボットの連携

ロングレンジリーダにより、50～60cmまでの距離を非接触で読み取り、車いすやストレッチャーなどの移動時も立ち止まることなく効率的な移動が可能です。



検知距離が長いため、ベッドを移動しながらの入退場もリーダに少し手を伸ばすだけで、楽に解錠することが可能



今回の事例でのポイント

利便性を確保するロングレンジ認証と勤怠管理・搬送ロボット等のシステム連携を実現

【導入担当者様コメント】

トヨタ記念病院 事務統括室 導入プロジェクト担当者様

今回、利用者（患者様、付添者様）ならびに従事者・ロボット・コンビニなどのサービス提供企業様など複雑・多様なセキュリティゾーン管理を構築する事が出来非常に満足しております。

稼働後もコンビニの年末年始オープン時間変更機能など業務効率化に繋がっております。



トヨタ記念病院

所在地：〒471-8513 愛知県豊田市平和町1丁目1番地

トヨタ記念病院は、地域の基幹病院として急性期医療を提供する役割を果たすため、救命救急センターやがん拠点病院など機能強化に努めてきました。新病院では高度な医療機器や搬送ロボット等、ハード面を充実させました。今後も利用者様の声に向き合いカイゼンを続け、より良い医療提供、地域医療の発展に努めます。

<https://www.toyota-mh.jp/>